

東海教区第 58 回総会・文書総会 閉会宣言と祈り

2021 年 5 月 8 日

東海教区 教区長：徳弘浩隆

復活の主のみ名をあがめます

ひと月少しに及ぶ、異例の文書総会が終了します。

ご面倒もあったと思いますが、皆様のご理解とご協力に感謝します。コロナ禍の中、何もせずに延期にするよりも、こういう時だからこそ思いと祈りを合わせるためにもと、今年は文書での総会開催となりました。実施して体験しながら、いろいろな課題も浮き彫りになります。今後のアイデアや祈りも与えられました。

集まったの総会でしたら、場所も共有して一緒に語り合い、質疑応答し、考えさせられ、また悔い改めや反省、新しい知恵や決意も与えられることでしょうかから、それには及ばない面があったでしょう。実は、昨年新しい教区常議員が選出されて、皆様の前に顔を合わせてご挨拶したこともまだありません。しかし、私たちは決して一人ではないことも、教えられました。

コロナ禍の中、教会員や関係者にもですが、身の回りの社会でも孤独や生活困難も広がっています。わたしも、教会員の力と祈りを借りて小グループでの声掛けや相互牧会、また日本にいる外国人労働者への声掛けや支援も、わずかずつでも続けています。皆様も、それぞれの分野や出会いの中で、お励みのことと思います。

もう一度、今回の聖書の言葉を思い起こしましょう。「御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。」(二テモテ 4 章 2 節)でした。この言葉の根拠は、単なる命令ではありません。折が良くても悪くても、人々が聞いても聞かなくても、私たちに信仰や愛があってもなくても、人類を愛し、呼びかけ、そのいのちまでも惜しまなかったイエスキリストに現れる神の愛であるのです。それを見上げましょう。

各個人の生活、教会や地区、教区や全体教会にも、たくさんの恵みとともに大きな課題や将来不安もあります。「それにもかかわらず」愛しゆるし導いて下さる神様を見上げて、歩みましょう。

新型コロナの変異種は新たな脅威となり私たちの足下に及んでいます。各教会施設でもいろいろな取り組みと祈りをされていることと思います。万全の対策と取り組みを、今後ともよろしく願います。そして、教区からわずかですが、教会の IT 環境整備の支援金を準備しています。教区総会での利用も他教区では始まっています。経費節減のためにも有効です。次の何かの機会のためにも、各教会でもどうぞ、環境整備をお願いいたします。

ここに、総会終了の宣言とともに、祈りをささげ、ご挨拶をお送りさせていただきます。

以上